



令和6年度 全国保育士会事業報告

～子どもの現在と未来を支える保育の実現～

令和6年の出生数は72万人で9年連続で減少となるなど、急速な少子化が進む一方で、保育所・認定こども園等を利用する子ども・子育て家庭は増加しています。乳幼児期の発達においては、身近な他者との愛着関係や日常的な遊びの中での学びが重要であることから、養護と教育を一体的に行っている保育所・認定こども園等で過ごす時間は、子どもの発達に大きな影響を与えます。また、近年、配慮を要する子どもや気になる子どもが増加していることからも、保育士・保育教諭による保育の質の向上がますます求められています。

そのような状況にあって、本会では会員の保育の質の向上に寄与すべく、「全国保育士会倫理綱領」に基づき、さまざまな取り組みを行いました。「保育士会だより」において、保育内容に直結する内容を、経験年数に関わらずすべての会員に分かりやすく発信するとともに、「保育士・保育教諭の研修体系」に基づく内容で開催した研修会では、会員が日ごろの保育の振り返りができるよう、全国の会員との意見交換・情報交換を重点的に行いました。

一方、制度的な動きに目を向けると、「こども未来戦略」や「改正児童福祉法」に明記された「こども誰でも通園制度」や「妊娠期からの切れ目のない支援」などにおいて、保育所・認定こども園等に対し、地域のすべての子ども・子育て家庭への支援の役割が期待されています。

こうした役割の中核を担うのが主任保育士・主幹保育教諭です。本会が以前から訴えている主任保育士の専任必置化の証左とすべく、主任保育士の役割や重要性などについて調査分析を行うための検討を進めました。

また、保育をめぐる制度施策について、保育現場の状況を伝えるべく、さまざまな機会を捉えて要望活動を実施するとともに、国の検討会や調査研究に参画し、本会がこれまで検討してきた内容や全国の会員からの意見を踏まえて、保育現場からの意見を伝えました。

国の検討会等の場に参画し、意見を伝えることができるには、全国に18万人の会員がいるからこそです。その会員の活動を支えるためには、都道府県・指定都市組織の役割が重要であり、組織強化の取り組みや、情報発信を充実させる必要があります。このことから、本会委員や都道府県・指定都市保育士会への支援体制の強化を目的とする方策を検討・実行するとともに、YouTubeやX等のSNSの活用により、保育の専門性や魅力を広く発信する活動に取り組んできました。

令和6年度、全国保育士会は今後の保育を取り巻く状況やそれに応じた組織体制のあり方等を念頭に置きながら、「子どもの現在と未来を支える保育の実現」をテーマに、次の4つの大きな柱に沿って事業に取り組みました。

1. 子どもが豊かに育つ質の高い保育の実現
2. 専門性の発揮できる環境構築
3. 乳幼児教育への理解促進
4. スカンボ募金による保育士等支援

I 重点事業

1. 社会の変化に対応した保育内容の実践

2. 地域支援事業に向けた取り組み

- 「社会の変化に対応した保育内容等に関する特別委員会」において、「1.社会の変化に対応した保育内容の実践」「2.地域支援事業に向けた取り組み」を一体的に検討した。
- 本年度は特に、主任保育士が果たしている役割・業務の現状の把握・整理等を行い、主任保育士を専任必置化することの必要性についてエビデンスをもって発信するための調査の検討を行った。
- また、地域支援の取り組みをより効果的に進めるにあたり、保育士・保育教諭等に必要なソーシャルワークの基礎的な知識・技術等について検討・整理を進めた。

3. 保育士会組織の強化と支援体制の強化

- ブロック保育士会会長会議における全国共通協議題で挙げられた事項を踏まえ、常任委員会において今後必要と考えられる対応等について検討を行った。
- 都道府県・指定都市保育士会組織の運営状況を把握し、今後必要と考えられる対応を検討するため「令和6年度都道府県・指定都市保育士会組織に関する調査」を実施した。
- ブロック保育士会リーダーセミナー等に本会正副会長が出席し、本会の役割等を説明することで、帰属意識の向上等を図った。

4. 保育の専門性の発信

- 保育現場から保育の魅力ややりがいを発信するとともに、保育士・保育教諭の仕事について、正しく理解できるような情報をYouTube「#すかんぽムービー」により発信した。
- 令和6年度は全6本の動画をYouTubeに



アップロードした。

II 事業報告

1. 子どもが豊かに育つ質の高い保育の実現

(1) 「全国保育士会倫理綱領」の普及と理解の促進、理念に基づいた保育の質の向上と実践強化

- ・ 全国保育士会研究大会や各研修会の際に倫理綱領の唱和を行い、全国保育士会倫理綱領の理念に基づいた質の高い保育を促進した。
- ・ 委員連絡会議や全国保育士研修会、ブロックセミナー等の機会に、全国保育士会の成り立ち等の説明と併せて、全国保育士会倫理綱領について解説を行った。

(2) 「保育士・保育教諭の研修体系」に基づく研修の提供

① 「保育士・保育教諭の研修体系」に基づく研修の提供

- ・ 研修体系を踏まえ、計画的な研修事業を企画・実施した。特に主任保育士・主幹保育教諭等のリーダー層の参加を意識し、適切な水準のプログラムを行った。

② 研修体系の活用の推進

- ・ 「第 51 回全国保育士研修会」の実施の際に、研修体系を踏まえた研修であることを周知することで、保育士等の階層により求められる専門性や役割が異なることの理解につなげた。

(3) 専門性の向上と生涯研修の実施

① 第 57 回全国保育士会研究大会の開催（高知大会／令和 6 年 11 月 21 日(木)～22 日(金)）

- ・ 保育実践の一層の向上をめざして保育研究・協議等を行った。なお、本年度をもって、全国保育士会単独開催の研究大会が終了となり、令和 7 年度からは「全国教育・保育研究大会」として全国保育協議会と協働で開催することとなった。

期　　日：令和 6 年 11 月 21 日（木）～22 日（金）

会　　場：高知県立県民文化ホール 他

参加人数：894 名（会員：767 名、会員でない方：57 名、
学生 0 名、関係者：70 名）



内　　容：全体会

- オープニングアトラクション
- 開会式・式典
- 基調報告：村松 幹子（全国保育士会 会長）
- 行政説明：栗原 正明 氏（こども家庭庁 成育局 保育政策課 課長）
- 記念講演：柴田 ケイコ 氏（絵本作家）
- 次期開催県挨拶

■分科会：

- ・第1分科会「子どもの発達と環境（3歳未満児）」／【助言者】青木 紀久代 氏（社会福祉法人真生会 理事長、白百合心理・社会福祉研究所 所長）
- ・第2分科会「子どもの発達と環境（3歳以上児）」／【助言者】阿部 和子 氏（大妻女子大学 名誉教授、大阪総合保育大学大学院 特任教授）
- ・第3分科会「配慮を要する子どもへの保育」／【助言者】帆足 晓子 氏（一般社団法人 親と子どもの臨床支援センター 代表理事）
- ・第4分科会「保育のなかの食育」／【助言者】野口 孝則 氏（上越教育大学大学院 学校教育研究科 教授）
- ・第5分科会「健康及び安全」／【助言者】大方 美香 氏（大阪総合保育大学大学院 教授・学長）
- ・第6分科会「保育所・認定こども園等における保護者支援」／【助言者】寺見 陽子 氏（大阪公立大学大学院 現代システム科学研究院、元神戸松蔭女子学院大学大学院 教授）
- ・第7分科会「地域における子育て支援」／【助言者】小嶋 玲子 氏（名古屋柳城短期大学 教授）
- ・第8分科会「専門性の向上をはかる取り組み」／【助言者】梶島 香代 氏（文京学院大学学長補佐（教職課程改革担当）教職課程センター長、同大学人間学部 教授、同大学大学院 兼任教授）
- ・特別分科会「自由発表（保育実践交流）」
／発表数：5件



② 第51回全国保育士研修会の開催

- ・京都府京都市にて開催した。

期　　日：令和7年1月30日（木）～31日（金）

会　　場：リーガロイヤルホテル京都

参加人数：485名

内　　容：



■基調報告／村松 幹子（全国保育士会 会長）

■行政説明／馬場 耕一郎 氏（こども家庭庁 保育政策課 保育指導専門官、成育基盤企画課 教育保育専門官）

■講義・対談「表現力を育む～日本の伝統芸能『能』の世界から学ぶ～」

／河村 純子 氏（河村能舞台「能楽おもしろ講座」主宰）

　　村松 幹子（全国保育士会 会長）

■コース別研修会

【Aコース】「配慮を要する子どもとその保護者への支援」

／星山 麻木 氏（明星大学 教授）

【B コース】「乳幼児期からの性教育」

／渡邊 安衣子 氏（株式会社 PLATICA 代表取締役・京都あいこ助産院 院長）

【C コース】「0歳児保育とは—自立座位・はいはい研究から検討した見守りとその重要性」

／カルマール 良子 氏（美作大学短期大学部 准教授）

【D コース】「若手保育者が育つ職場作り—園内研修・カンファレンスに焦点をあてて」

／服部 敬子 氏（京都府立大学 教授）

③ 第 36 期主任保育士・主幹保育教諭特別講座の実施（通年／東京都霞が関（集中講義））

- ・ 参集形式での講座を実施した（38名参加）。
- ・ 会場は新霞が関ビルを利用し、費用の軽減を図った。
- ・ 一部 WEB 講義を活用することで費用および参加者の負担軽減を図った。
- ・ 実施会場の選定は令和 7 年度以降、社会情勢をみながら総合的に判断していくことを正副会長会議・常任委員会で確認した。
- ・ その後、研修部会、正副会長会議、常任委員会での協議を経て、令和 7 年度前期集中講義を「新霞が関ビル」（東京都千代田区）で開催し、後期集中講義を「ロフオス湘南」（神奈川県三浦郡）で開催することを決定し、受講生の募集を行った。



④ 第 19 回「保育スーパーバイザー養成研修会」の開催（東京都霞が関）

期　　日：令和 6 年 8 月 29 日（水）～8 月 30 日（金）

参加人数：39 名（申込者 46 名）

※台風の影響により参加人数が減少した

会　　場：全社協 5 階会議室



■行政説明／行政説明／馬場 耕一郎 氏

（こども家庭庁 保育政策課 保育指導専門官、成育基盤企画課 教育保育専門官）

■基調報告／村松 幹子（全国保育士会 会長）

■講義・演習 I 「保育士・保育教諭等に求められるソーシャルワーク」

／伊藤 嘉余子 氏（大阪公立大学 教授）

■講義・演習 II 「リーダー的職員・管理的職員としての役割」

／小櫃 智子 氏（東京家政大学 教授）

⑤ 都道府県・指定都市保育士会正副会長セミナーの開催（東京都霞が関）

- 保育をとりまく状況を踏まえ、以下のプログラムにて実施予定。

期　　日：令和7年2月26日（水）～27日（木）

参加人数：83名

会　　場：全社協5階会議室

内　　容：

■基調報告／村松 幹子（全国保育士会 会長）

■行政説明／栗原 正明 氏

（こども家庭庁 成育局 保育政策課 課長）

■意見交換

■講義I 「今後、保育士・保育教諭等の取り組むべきことを考える」

／高辻 千恵 氏（大妻女子大学 准教授）

■講義II 「災害から子どもたちを守るための事前の備え」

／山本 克彦 氏（日本福祉大学 教授）



⑥ 「保育活動専門員」認定制度による専門性向上の推進

- 全国保育協議会・全国保育士会研修担当連絡会において審査の結果、今年度は60名（新規30名、更新30名）が認定された。
- 新規30名のうち、主任保育士・主幹保育教諭特別講座修了生は7名であった。

⑦ 「保育の個別計画」の推進による保育の質の向上の取り組み

- 本会ホームページにて、継続的に「個別計画」の様式例の周知・紹介を行い、現場における取り組みのさらなる促進につなげた。

⑧ 自己評価の推進および第三者評価事業を活用した保育の質の向上への取り組み

- 令和4年度に収集した自己評価や第三者評価事業を活用した取り組みをまとめ、「保育所・認定こども園等における自己評価・第三者評価を活用した実践事例～子どもの豊かな育ちを保障する取り組みのすすめ～」の周知・紹介を行った。
- 現場の保育士・保育教諭による「保育所・認定こども園等における人権擁護のためのセルフチェックリスト」をHPで公開することで、保育の振り返りの取り組みを促進した。



（4）社会の変化に対応した保育内容の実践

- 「社会の変化に対応した保育内容等における特別委員会」において継続的に検討を進めた。（重点事業「社会の変化に対応した保育内容の実践と発信」に記載）

（5）保育所・認定こども園等による食育の推進

① 食育の意義の周知

- 「子どもの育ちを支える食」の周知を図るとともに、令和5年度に作成した対象者別のパンフレット等を各研修会等で配布し、保育所等が取り組んでいく食育の意義を発信した。また、「食育推進評価専門委員会」（農林水産省）



に笠置副会長が参画し、パンフレットを活用して乳幼児期の食の重要性、自園調理の優位性などを伝えた。

- ・ 食育推進研修会や本会ホームページにおいて、「子どもの育ちを支える食」の周知を図った。
- ・ 「子どもの育ちを支える食」「食べることは生きること」について、本会主催の研修会やブロック保育士会会長会議等の場において周知および活用促進を行い、自園調理の優位性を広く社会に向け発信した。
- ・ パンフレット「食べることは生きること」を本会ホームページに掲載し、自園調理の優位性について周知を図った。
- ・ なお、令和3年度までに改めて評価を行うこととされていた「公立保育所における3歳未満児の給食外部搬入方式の容認事業」については、構造改革特区推進本部 評価・調査委員会（令和4年5月13日）で現地調査やヒアリング調査等を行なながら課題を整理し、令和7年度までに改めて評価を行うこととされている。（令和4年10月5日「今後の政府の対応方針」として決定）

② 全国保育士会食育推進ビジョンの普及

- ・ 本会研修会や会議における唱和、研修会冊子等への掲載により、周知を図った。
- ・ 食育推進研修会において、本ビジョンの策定経緯等の説明を行い、周知ならびに活用促進を図った。
- ・ 各都道府県・指定都市組織に対し、本ビジョン活用促進について通知し、全国的な周知と活用を促した。

③ 食育推進委員会および食育推進委員会運営委員会の開催

- ・ 食育推進委員会を参考で開催し（7月25日、食育推進研修会1日目終了後）、食育推進委員会の目的・役割やビジョン等を共有した。また、各都道府県・指定都市組織で実施している食育の取り組みや、課題等についてグループワークを通して共有を図った。
- ・ 第1回食育推進委員会運営委員会を開催し（7月25日、食育推進研修会開始前）、食育推進委員会事業について確認した。
- ・ 第2回食育推進委員会運営委員会を開催し、食育推進研修会の企画等について検討した。

④ 食育推進研修会の開催

- ・ 昨今の子どもの食育をとりまく課題について共有を図り、口腔の基礎知識や口腔内の状況が及ぼす影響、配慮が必要な子どもへのアプローチの方法、食育計画をもとにした食育実践等を学ぶ内容として実施した。
- ・ アーカイブ配信を行うことで参加の選択肢を広げ、より多くの方へ受講いただける環境づくりに努めた。

期　　日：令和6年7月25日（木）～26日（金）

参加人数：会場参加 154名、アーカイブ参加 166名

会　　場：ホテルグリーンタワー幕張

内　　容：

■情勢説明「食を取り巻く国の動向」

／久保 陽子 氏（こども家庭庁 成育局 成育基盤企画課 栄養専門官）



<p>■講義 I 「子どもの発達に応じた食へのアプローチ」 ／権 晓成 氏 (K DENTAL CLINIC 院長)</p>
<p>■講義 II 「配慮が必要な子どもに寄り添う食育」 ／水野 智美 氏 (筑波大学医学医療系 准教授)</p>
<p>■講義 III 「子どもの育ちを支える食育～保護者支援・家庭との連携～」 ／野口 孝則 氏 (上越教育大学大学院 教授)</p>

⑤ 第4次食育推進基本計画への対応

- 国の「食育推進評価専門委員会」(農林水産省)に笠置副会長が参画し、保育士会の取り組みを発信するとともに、保育現場における食育の取り組みや課題等について意見を発信した。

(6) 児童虐待防止および子どもの貧困対応等への取り組み

① 児童虐待防止と対応に向けた子どもおよび保護者支援の取り組み

- 「保育士による児童生徒性暴力等の防止等に関する基本的な指針」が策定されたこと等を踏まえ、令和5年度に作成した子どもへの性暴力防止に資することを目的としたパンフレット『自らの保育実践を自信をもって発信するために「子どもへの性暴力防止」の視点から考える保育の専門性』を公表した。
- 上記パンフレットを踏まえ、子どもの権利に関する内容に触れることや、性暴力が起きる可能性についても言及する等、保育者が我が事として捉えられるようなものとなるよう、保育所・認定こども園等における性教育の取り組みを進めることについて本パンフレットに続くものの整理を進めている。
- 「これって虐待？ 保育者向け児童虐待防止のための研修用ワークブック」を、本会主催の研修会やブロック保育士会会長会議等の場において周知し、活用の促進や、虐待の予防と早期発見につなげた。

② 保育所・認定こども園における人権擁護のための取り組み

- 「保育所・認定こども園等における人権擁護のためのセルフチェックリスト」を、本会主催の研修会やブロック保育士会会長会議等の場において周知し、人権擁護のための自己点検の実施を促進した。

③ 児童虐待防止推進月間および児童虐待防止オレンジリボン運動への協力

- 都道府県・指定都市保育士会および本会委員に、ポスターおよびチラシ等を送付し、「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」の周知をはかった。
- 「第22回子どもの虐待死を悼み命を讃える市民集会」(主催:認定NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク)に対して後援を行うとともに、周知協力を行った。

④ 子どもの貧困(貧困等の課題を抱える家庭)等への対応

- 「保育士・保育教諭として、子どもの貧困問題を考える」を、本会主催の研修会やブロック保育士会会長会議等の場において周知し、子どもの貧困への理解と支援を促進した。

(7) 配慮を要する子どもの保育と保護者支援

- 令和 5 年度に作成したパンフレット『自らの保育実践を自信をもって発信するために「子どもへの性暴力防止」の視点から考える保育の専門性』において、子ども自身の性別に対する違和感への配慮や、「性的指向及びジェンダー・アイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」等を盛り込み、HP で公表した。
- 保育士会だより No.323 (11月号) の特集において、「配慮が必要な保護者への対応と支援」を掲載し、配慮が必要な保護者に対する保育士・保育教諭等の専門性を活かした対応について学ぶとともに、専門機関への接続や地域社会との連携について会員へ理解促進を深めた。(執筆者：渡辺 順一郎 氏 (日本福祉大学 教育・心理学部 子ども発達学科 教授))

(8) 地域の子育て支援の推進

- ① 地域での生活を支える児童福祉施設等による子ども・子育て家庭支援の推進
- ② 社会的養護との連携による取り組みに向けた検討
- ③ 地域支援事業に向けた取り組み
 - 地域支援の取り組みをより効果的に進めるにあたり、保育士・保育教諭等に必要なソーシャルワークの基礎的な知識・技術等について検討・整理を進めている。(再掲)
 - 委員ニュースにおいて、地域における公益的な取り組みに関する周知を行った。
- ④ 「保育士がこたえる子育て Q&A」の充実と普及
 - ホームページを通じて、保護者が子育てのなかで感じる不安や疑問に答えることで、家庭での子どもの豊かな育ちへつなげるとともに、保育士・保育教諭等の専門性に対する理解をすすめた。

(9) 保育実践研究の推進、支援

- ① 改訂版「保育を高める実践研究の手引き」の活用と関係機関への発信
 - 全国保育士会研究紀要 2025 の執筆者に対して送付し、活用を促した。
 - 第 36 期主任保育士・主幹保育教諭特別講座受講生に対し送付し、活用を促した。
- ② 「全国保育士会研究紀要」の刊行、活用の推進
 - 第 57 回全国保育士会研究大会における実践研究発表 16 本を「第 34 号全国保育士会研究紀要 2024」としてまとめ、全国大会で資料として配布するとともに、有償頒布を実施した。
- ③ 研究奨励費助成の実施
 - 第 57 回全国保育士会研究大会で発表する都道府県・指定都市組織(16 組織)に対し、「研究奨励費」の助成を実施した。
- ④ 「保育研究」の推進（学会発表助成の実施）
 - 委員連絡会議において、「各都道府県・指定都市組織の重点的な取り組みについて」をテーマにグループワークを実施し、各都道府県・指定都市保育士会における取り組み等を情報共有した。
 - より申請しやすく見直した（令和 2 年度）助成要件により「学会発表助成」の募集を行った。
 - 全国保育士会委員、各事務局へ要項を発出した。



- ・「主任保育士・主幹保育教諭特別講座」、「教育・保育施設ステージアップ研修」修了生へ要項を発出した。

※助成件数：1件

2. 専門性の発揮できる環境構築

(1) 保育制度改革等への対応

① 保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領にもとづく保育実践の推進

- ・「こども家庭審議会 子ども・子育て支援等分科会」に村松会長が参画し、保育関連制度について保育の現場の視点から意見を発信した。
- ・パンフレット『自らの保育実践を自信をもって発信するために「子どもへの性暴力防止」の視点から考える保育の専門性』の周知を図った。
- ・「こどもに対して教育、保育等を提供する場における性暴力の防止等の取組を横断的に促進するための指針の作成等に関する調査研究業務」(こども家庭庁)について、制度・保育内容研究部会がこども家庭庁等からヒアリングを受け、現場の状況や指針に含めていただきたい事項について意見を伝えた。
- ・各研修会において、指針に基づいたプログラムを実行した。特に主任保育士・主幹保育教諭特別講座では、保育所保育指針の平成30年度改訂後について講義を実施した。

② 地域全体で受け止める支援体制づくりへの参画と、多様な保育・子育てニーズに対する積極的な関与

- ・委員ニュースにおいて、地域における公益的な取組に関する現況報告書への記載について周知を行った。
- ・「医療的ケアを必要とする子どもの保育実践事例集」を本会主催の研修会やブロック保育士会会長会議等の場で周知し、会員の医療的ケア児の保育に対する理解促進を図った。
- ・「特別な配慮が必要な児に対する乳幼児健康診査等の実施実態の把握に関する調査研究」(こども家庭庁)に服部副会長が参画し、保育現場の視点から配慮をする子どもへの健診断の状況等について意見を述べている。
- ・「こども家庭ソーシャルワーカーの研修の評価及び今後の在り方の検討に関する調査研究」に村松会長が参画し、保育現場の視点から認定資格の研修の運用等について意見を述べた。
- ・「保育所等における不適切な保育に関する調査研究」(こども家庭庁)に笠置副会長が参画し、不適切な保育に関する自治体調査項目等について保育現場の視点から意見を述べた。
- ・「保育現場等における児童生徒性暴力防止等のための効果的な取組に関する調査研究業務」(こども家庭庁)に北野副会長が参画し、保育現場の視点から自治体への調査等について意見を述べた。
- ・全国社会福祉協議会が実施した「令和6年度全社協福祉懇談会」に正副会長が出席し、関係国會議員に対して、全国保育協議会との連名により要望書を提出した。主に職員配置基準の改善および主任保育士の必置化、保育士・保育教諭の働き方改革等について要望した。
- ・全国保育協議会が実施する「令和6年度全国保育組織正副会長等会議」に、本会正副会長等が出席し、情報交換を行った。またその翌日には、それぞれの都道府県・指定都市保育組織にて、地元選出の国會議員に全国保育協議会との連名の要望書による要望活動を行つ

た。前述の要望に加え、認定こども園特有の課題や公立施設の課題などについて要望を行った。

(2) 保育士・保育教諭の人材確保、養成、定着

① 保育士・保育教諭の人材確保、養成、定着の推進

- 保育士会だより No.320（5月号）にて、保育人材の確保・育成・定着に向けて、新人保育士が働きやすい職場づくりに関する特集を掲載した。（執筆者：金城 悟 氏（東京家政大学教授））
- 人材確保懇談会（こども家庭庁）に北野副会長が参画し、第2回（11月29日）において、保育士会が実施している人材確保や魅力発信事業等について報告した。

② 次世代への保育の仕事の理解促進

- 保育現場から保育の魅力ややりがいを発信するとともに、保育士・保育教諭の仕事について、正しく理解できるような情報を YouTube 「#すかんぽムービー」により発信した。
- 令和6年度は全6本の動画を YouTube にアップロードした。

③ 保育士資格の社会的位置付けや保育士の専門性の向上

- 「社会の変化に対応した保育内容等に関する特別委員会」において、主任保育士が果たしている役割・業務の現状の把握・整理等を行い、主任保育士を専任必置化することの必要性に関する発信を行うための調査を検討した。

④ 保育士・保育教諭のキャリアアップの確立

- 『保育士等キャリアアップ研修ハンドブック』（全国保育士会 編／全社協）の普及促進に努めた（令和6年度：907部、累計：40,787部販売 ※3月31日時点）。
- 都道府県保育士会の申請に基づき、都道府県庁に対し「処遇改善等加算Ⅱにかかる認定研修実施主体」の申請を行い、本会主催の研修の受講促進および受講者の専門性の向上を図った（16県申請、11県認定済 ※3月31日時点）。



(3) 組織強化の推進

① 保育士会組織の強化と支援体制の強化

- 研究大会の今後の在り方について全国保育協議会と連携して検討を行い、決定した。令和7年度からの研究大会の一本化に伴い、研究紀要のテーマを8本から5本に整理することを決定した。
- 委員総会や委員連絡会議等において、全国保育士会委員を主な対象とした「委員マニュアル」や「保育士会活動のしおり」等の周知・活用促進を行った。
- 「委員マニュアル」の内容について、一部見直しを行った。

② 新規会員の獲得に向けた取り組み

- 「保育士会だより」や委員ニュース等を通した情報発信の強化、リーフレットを通じた全国保育士会の取り組み周知等を行った。

③ 会員名簿更新の実施

- 各都道府県・市組織に対して会員名簿の更新を依頼し、名簿にもとづき会費請求を行った。
(令和 6 年度会員数：181,560 人) ※令和 7 年 3 月 31 日時点
- 会員名簿により収集する情報の削減や、提出手順の一部見直しにより、都道府県・指定都市組織への事務負担の軽減を図った。

④ 永年勤続保育士等への感謝状の贈呈

- 第 57 回全国保育士会研究大会において、1,559 名に感謝状を贈呈した（会場での受け取りは 57 名）。
- 受賞者名簿を作成し、感謝状受賞者、第 57 回全国保育士会研究大会参加者、全国保育士会委員、都道府県・指定都市保育士会に配布した。

⑤ 地域子育て支援を推進する保育者の支援

- 「全国保育士会会員バッジ」の一層の普及を促進し、保育士・保育教諭に加え、栄養士、調理員等も含めたバッジの保持者が、保育をつかさどる専門職の集団であることを、視覚的に地域や社会へ周知し、会員にとって組織への帰属意識を高めるツールとしてその活用を図った。

【頒布数計：1,441 個】※令和 7 年 3 月 31 日時点

- 第一次頒布：884 個
- 第二次頒布：477 個
- 随時頒布：80 個（令和 6 年度実績）

⑥ 「令和 6 年度保育士会活動のしおり」の作成

- 「令和 6 年度保育士会活動のしおり」を作成し、各都道府県・指定都市保育士会、全国保育士会委員、都道府県・指定都市社協に配付した。

（4） ブロック、都道府県・指定都市保育士会との連携推進

① 各種助成事業の実施（ブロック会長会議・リーダーセミナー助成、組織強化費の実施）

- ブロック会長会議・リーダーセミナー助成を以下のとおり実施した。

ブロック名	助成金額	実施内容
北海道・東北ブロック	291,000 円	①北海道・東北ブロック保育士会会長会議 ／【第1回】令和 6 年 5 月 14 日（火） 【第2回】令和 6 年 7 月 10 日（水） ②北海道・東北ブロック保育士会リーダーセミナー ／令和 7 年 1 月 24 日（金）

ブロック名	助成金額	実施内容
関東ブロック	519,000 円	①関東ブロック保育士会会長会議 ／【第1回】令和6年7月4日（木） 【第2回】令和7年2月7日（金） ②関東ブロック保育士会リーダーセミナー ／令和7年2月7日（金）
東海・北陸ブロック	253,000 円	①東海・北陸ブロック保育士会会長会議 ／【第1回】令和6年7月19日（金） 【第2回】令和6年11月19日（火） ②東海・北陸ブロック保育士会リーダーセミナー ／令和6年11月19日（火）
近畿ブロック	329,000 円	①近畿ブロック保育士会会長会議 ／【第1回】令和6年4月2日（火） 【第2回】令和6年9月21日（土） ②近畿ブロック保育士会リーダーセミナー ／令和6年9月21日（土）
中国ブロック	139,000 円	①中国ブロック保育士会会長会議 ／【第1回】令和6年7月10日（水） 【第2回】令和7年2月17日（月）予定 ②中国ブロック保育士会リーダーセミナー ／令和7年2月19日（水）予定
四国ブロック	177,000 円	①四国ブロック保育士会会長会議 ／【第1回】令和6年7月10日（水） 【第2回】令和6年11月6日（水） ②四国ブロック保育士会リーダーセミナー ／令和6年11月6日（水）
九州ブロック	443,000 円	①九州ブロック保育士会会長会議 ／【第1回】令和6年6月12日（水） 【第2回】令和6年7月11日（木） 【第3回】令和6年11月20日（水） 【第4回】令和7年2月16日（日） ②九州ブロック保育士会リーダーセミナー ／【第1回】令和6年7月11日（木） 【第2回】令和7年2月17日（月）

② ブロック保育大会への協力

- 以下のブロック保育大会等に役員が出席し、基調報告等を行った。

ブロック名	事業名	出席者
北海道・東北 ブロック	北海道・東北ブロック保育研究大会（秋田県） ／令和6年7月10日（水）～11日（木）	服部 明子 副会長

関東ブロック	関東ブロック保育研究大会（新潟県） ／令和6年7月4日（木）～5日（金）	村松 幹子 会長
東海・北陸 ブロック	東海北陸保育研究大会（福井県） ／令和6年7月18日（木）～19日（金）	-
近畿ブロック	近畿ブロック保育研究集会（京都府） ／令和6年7月4日（木）～5日（金）	北野 久美 副会長
中国ブロック	中国ブロック保育研究大会（鳥取県） ／令和6年7月11日（木）～12日（金）	村松 幹子 会長
四国ブロック	四国ブロック保育研究大会（香川県） ／令和6年7月11日（木）～12日（金）	笠置 英恵 副会長
九州ブロック	九州保育三団体研究大会（熊本県） ／令和6年7月11日（木）～7月12日（金）	北野 久美 副会長

③ 各ブロック保育士会との意見交換の実施

- 各ブロック保育大会等に役員が出席した際に、都道府県・指定都市保育士会正副会長等と意見交換を実施した。

(5) 会員および保育関係者への情報発信

① 全国保育士会ホームページの充実

- 会員および保育関係者への情報提供や全国保育士会の事業、その成果、国の会議への参画状況等を掲載し、本会の取り組みを会員・会員外へアピールした。
- 本会の諸会議の開催状況、研修会の案内、保育士会だよりのバックナンバー、委員ニュース等を随時更新している。
- 「#すかんぱムービー」の継続的な更新や、研修会等の最新情報をホームページのスライダーに掲載すること、会員専用ページを充実させる等、発信力の向上を図った。

② 「保育士会だより」による会員への情報提供（年6回／奇数月）

- 保育の質の向上につなげるため、最新の情報や会員が知りたい内容を提供した。
- 今年度の企画は以下のとおり。現在3月号(325号)まで発行済み。（バックナンバーを全国保育士会ホームページの会員専用ページに掲載）

特 集	連載 1 音環境から考える保育と音感受性	連載 2 子ども一人ひとりを尊重する乳幼児期からの性教育
5月号(320号) 【8ページ】	新人保育士が働きやすい職場づくり	【第1回】 子どもたちが感じている音の世界と音感受性 【第1回】 子どもを取り巻く性の現状
7月号(321号) 【8ページ】	保幼小の接続・連携について ～架け橋プログラムの実践に向けて～	【第2回】 保育現場での音環境 【第2回】 性教育とは
9月号(322号) 【12ページ】	・保育現場の災害対策～子供たちの命を守るために～ ・子どもの言語発達とデジタ	【第3回】 子どもの音環境に関する保育者～感性的な 【第3回】 乳幼児期からの性教育

特 集	連載 1 音環境から考える保育と音感受性	連載 2 子ども一人ひとりを尊重する乳幼児期からの性教育
	ルとのかかわり	出会いを工夫し、共に楽しむ！～
11月号(323号) 【8ページ】	配慮が必要な保護者への対応と支援	【第4回】 子どもの感性を伸ばす音遊び(1)
1月号(324号) 【16ページ】	第57回全国保育士会研究大会報告 「子どもの現在と未来を支える保育の実現—子どもは未来的だからやき！！～高知で一緒に学ぼうや～」	【第5回】 子どもの感性を伸ばす音遊び(2)
3月号(325号) 【8ページ】	保育の質を向上し、かつ保育者が負担と感じない記録の書き方	【第6回】 音環境から考える保育と音感受性
		【第6回】 乳幼児期からの性教育

③「全国保育士会委員ニュース」の発行（随時）

- 現在までに第1号～第36号まで発行した。（令和7年3月31日時点）

④『保育の友』の編集協力

- 服部副会長が『保育の友』編集委員会に参画し、現場の保育士の立場から意見を述べ、『保育の友』の内容の充実に寄与した。
- 「ナウ・トピックス」にて全国保育士会の動向等についての情報発信を実施した。
- 第5回常任委員会において、本会正副会長、常任委員が全国社会福祉協議会出版部から『保育の友』の紙面内容についてヒアリングを受け、現場保育者の意見を紙面に反映するよう意見交換を行った。

3. 乳幼児教育への理解促進

(1) 保育（養護と教育）の専門性の明確化と発信の取り組み

①「命を育み、学ぶ意欲を育てます。」ポスター

掲出呼びかけ

- デザインを変更したポスターの活用により、保護者や地域社会に保育について発信した。



② 報告書「養護と教育が一体となった保育の言語化」の活用促進

- 各研修会の参加者や本会ホームページにて継続的な周知を行い、保育者自身の、保育に対する理解の深まりを促進するとともに、社会・地域からの保育に対する理解の深まりの促進につなげた。

③「806の研究から厳選!! 保育実践における研究論文集」の活用促進

- ・ 「研究紀要 2024」の執筆者や各研修会の参加者に対して周知を行い、活用及び保育実践に対する理解促進をはかった。
頒布数：7 冊（令和 6 年度実績）

（2）子どもの育ちの連続性を確保する小学校との連携強化

- ・ パンフレット「子どもの育ちの連続性を確保するために～保育所・認定こども園から小学校への円滑な接続をめざして」を、本会主催の研修会やブロック保育士会会長会議等の場において周知し、小学校との一層の連携強化等の取り組み促進を図った。

4. スカンボ募金による保育士等支援

（1）全国保育士会被災地支援スカンボ募金の実施

- ・ 全国保育士会被災地支援事業を実施し、2 件（宮城県、石川県）の申請があった。（令和 7 年 3 月 31 日時点）

（2）大規模自然災害発生への備え

- ・ 大規模自然災害発生時・発生後の組織的な支援についての情報収集と共有を行った。
- ・ 保育士会だより No.322（9 月号）にて、保育現場の災害対策に関する特集を掲載した。（鼎談：山本 克彦 氏（日本福祉大学 教授））
- ・ 都道府県・指定都市保育士会正副会長セミナーの講義にて、「災害から子どもたちを守るために事前の備え」というテーマで、災害発生時の対応を想定した BCP 作成の重要性や、平常時での備えについて、理解を促進した。（講師：山本 克彦 氏（日本福祉大学 教授））

5. 諸会議の開催

（1）委員総会の開催（2 回）

- ・ 第 1 回委員総会／令和 6 年 6 月 12 日（水）
第 1 号議案：令和 5 年度全国保育士会事業報告（案）について
第 2 号議案：令和 5 年度全国保育士会収支決算について
- ・ 第 2 回委員総会／令和 7 年 2 月 27 日（木）
第 1 号議案：令和 7 年度全国保育士会事業計画（案）について
第 2 号議案：令和 7 年度全国保育士会収支予算（案）について
第 3 号議案：全国保育士会委員等活動費支給内規の一部改正について

（2）委員連絡会議の開催

- ・ 委員連絡会議／令和 6 年 11 月 20 日（水）
 - ① 倫理綱領・食育推進ビジョン唱和
 - ② 保育をめぐる動向と全国保育士会の取り組みについて
 - ③ 令和 6 年度事業の状況報告等
 - ④ グループワーク・意見交換、質疑応答

（3）事業及び会計監査の実施

- ・ 事業及び会計監査の実施／令和 6 年 5 月 28 日（火）

- ① 令和5年4月1日～令和6年3月31日の事業及び会計の執行にかかる監査

(4) 常任委員会の開催(6回)

・第1回常任委員会／令和6年5月16日(木)

- ① 令和6年度第1回委員総会の開催等について
- ② 令和5年度事業報告(案)について
- ③ 令和5年度収支決算および会計監査の進め方について
- ④ 全国保育士会 被災地支援事業の実施について
- ⑤ 令和6年度事業の進め方について

・第2回常任委員会／令和6年7月9日(火)

- ① 主任保育士・主幹保育教諭特別講座について
- ② 組織強化の検討について
- ③ 研究紀要助言者の退任について
- ④ 令和7年度以降の研究紀要委員長について
- ⑤ 保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改定を見据えた今後の対応について

・第3回常任委員会／令和6年9月13日(金)

- ① 令和6年度事業進捗について
- ② 令和7年度主任保育士・主幹保育教諭特別講座
- ③ 第57回全国保育士会研究大会に係る分科会司会について
- ④ 令和6年度委員連絡会議における協議事項について
- ⑤ 令和7年度 事業計画(案)・予算(案)の策定に向けた検討について

・第4回常任委員会／令和6年10月31日(木)

- ① 委員連絡会議の進め方の詳細について
- ② 令和7年度(第37期)主任保育士・主幹保育教諭特別講座について
- ③ 令和7年度 事業計画(案)・予算(案)の策定について
- ④ 保育のPRポスターについて

・第5回常任委員会／令和6年12月12日(木)

- ① 令和6年度事業進捗状況／令和7年度事業計画等の策定方針について
- ② 全国保育士会会則の一部改正について
- ③ 全国保育士会および都道府県・指定都市組織の組織力強化について
- ④ 全国社会福祉協議会 出版部「保育の友」について

・第6回常任委員会／令和7年2月12日(水)

- ① 令和6年度第2回委員総会について
- ② 令和6年度事業進捗状況・決算見込みについて
- ③ 令和7年度事業計画(案)・予算(案)について
- ④ 全国保育士会および都道府県・指定都市組織の組織力強化について

(5) 正副会長会議の開催(6回)

・第1回正副会長会議／令和6年5月16日(木)

- ① 令和6年度第1回委員総会の進め方について
- ② 令和5年度事業報告(案)について
- ③ 令和5年度収支決算および会計監査の進め方について

- ④ 令和 6 年度事業の進め方について
- ⑤ 中国ブロック保育士会との意見交換後の検討について(組織強化)
- ⑥ 被災地支援事業およびスカンポン募金チラシについて

・第 2 回正副会長会議／令和 6 年 7 月 3 日(水)

- ① 主任保育士・主幹保育教諭特別講座について
- ② 組織強化の検討について
- ③ 特別委員会の進め方等について
- ④ 研究紀要助言者の退任について
- ⑤ 令和 7 年度以降の研究紀要委員長について
- ⑥ 保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改定を見据えた今後の対応について

・第 3 回正副会長会議／令和 6 年 9 月 5 日(木)

- ① 令和 6 年度事業進捗について
- ② 令和 6 年度委員連絡会議における協議事項について
- ③ 全国保育士会および都道府県・指定都市組織の組織力強化について
- ④ 令和 7 年度 事業計画(案)・予算(案)の策定に向けた検討について

・第 4 回正副会長会議／令和 6 年 10 月 31 日(木)

- ① 委員連絡会議の進め方の詳細について
- ② 令和 7 年度(第 37 期)主任保育士・主幹保育教諭特別講座について
- ③ 令和 7 年度 事業計画(案)・予算(案)の策定について
- ④ 保育の PR ポスターについて
- ⑤ 社会の変化に対応した保育内容等に関する特別委員会調査について

・第 5 回正副会長会議／令和 6 年 12 月 4 日(水)

- ① 令和 6 年度事業進捗状況および令和 7 年度事業計画等の策定方針について
- ② 全国保育士会会則の一部改正について
- ③ 全国保育士会および都道府県・指定都市保育士会組織の組織力強化について
- ④ 社会の変化に対応した保育内容等に関する特別委員会調査について
- ⑤ 社会福祉協議会 基本要項 2025 について

・第 6 回正副会長会議／令和 7 年 2 月 4 日(火)

- ① 令和 6 年度第 2 回委員総会について
- ② 令和 6 年度事業進捗状況・決算見込みについて
- ③ 令和 7 年度事業計画(案)・予算(案)について
- ④ 全国保育士会および都道府県・指定都市組織の組織力強化について
- ⑤ 全国教育・保育研究大会運営委員会について

(6)全保協・全国保育士会正副会長連絡会の開催

- ・第 1 回全保協・全国保育士会正副会長連絡会／令和 6 年 5 月 17 日(金)
- ・第 2 回全保協・全国保育士会正副会長連絡会／令和 7 年 2 月 13 日(木)

(7)総務部会の開催(3 回)

・第 1 回総務部会／令和 6 年 5 月 1 日(水)

- ① 令和 6 年度第1回委員総会の進め方について
- ② 令和 5 年度事業報告(案)について
- ③ 令和 5 年度収支決算および会計監査の進め方について

- ④ 令和 6 年度ブロック保育士会長会議・リーダーセミナー(案)および
令和 5 年度ブロック保育士会長会議・リーダーセミナー(報告)について
- ⑤ 全国保育士会 被災地支援事業の実施について
- ⑥ 全国保育士会および都道府県・指定都市組織の組織力強化について

・第 2 回総務部会／令和 6 年 8 月 5 日(火)

- ① 令和 6 年度の事業の進め方について
- ② 令和 6 年度全国保育士会感謝状贈呈者の決定について
- ③ 令和 6 年度都道府県・指定都市正副会長セミナーの企画について
- ④ 全国保育士会および都道府県・指定都市組織の組織力強化について
- ⑤ 被災地支援スカンポン募金チラシの作成について

・第 3 回総務部会／令和 7 年 1 月 22 日(水)

- ① 令和 6 年度第 2 回委員総会について
- ② 令和 6 年度事業進捗状況・決算見込み
- ③ 令和 7 年度事業計画(案)・予算(案)
- ④ 全国保育士会委員等活動費支給内規の一部改正について
- ⑤ 令和 6 年度都道府県・指定都市正副会長セミナーの進行について
- ⑥ 全国保育士会および都道府県・指定都市組織の組織力強化への対応

(8)制度・保育内容研究部会の開催(3回)

・第 1 回制度・保育内容研究部会／令和 6 年 7 月 30 日(火)

- ① 令和 6 年度事業の進め方について
- ② 保育士・保育教諭等に必要なソーシャルワークの基礎的な知識・技術の進め方について

・第 2 回制度・保育内容研究部会／令和 6 年 11 月 12 日(火)

- ① 保育士・保育教諭等に必要なソーシャルワークの基礎的な知識・技術について
- ② 「子どもへの性暴力防止」への対応について

・第 3 回制度・保育内容研究部会／令和 7 年 1 月 20 日(月)

- ① 令和 6 年度事業進捗状況・決算見込み
- ② 令和 7 年度事業計画(案)・予算(案)について
- ③ 子どもへの性暴力防止の取り組みについて

(9)研修部会の開催(4回)

・第 1 回研修部会／令和 6 年 7 月 31 日(水)

- ① 令和 6 年度事業の進め方について
- ② 「主任保育士・主幹保育教諭特別講座」について
- ③ 「第 36 期主任保育士・主幹保育教諭特別講座」および「第 19 回保育スーパーバイザー養成研修会」の役割分担について
- ④ 「第 51 回全国保育士研修会企画」について

・第 2 回研修部会／令和 6 年 10 月 8 日(火)

- ① 第 19 回「保育スーパーバイザー」養成研修会の報告について
- ② 第 36 期主任保育士・主幹保育教諭特別講座の報告について
- ③ 第 37 期主任保育士・主幹保育教諭特別講座について
- ④ 第 51 回全国保育士研修会について

・第 3 回研修部会／令和 6 年 12 月 26 日(木)

- ① 令和6年度事業進捗状況と決算見込みについて
 - ② 令和7年度事業計画(案)と予算(案)について
 - ③ 第51回全国保育士研修会における役割について
 - ④ 第20回「保育スーパーバイザー養成」研修会について
- ・第4回研修部会／令和7年1月30日(木)
- ① 令和6年度学会発表助成について
 - ② 令和6年度「学会発表助成」要項(案)について
 - ③ 第20回「保育スーパーバイザー」養成研修会について

(10) 広報部会の開催(3回)

- ・第1回広報部会／令和6年7月16日(火)
 - ① 令和6年度広報部事業について
 - ② 「保育士会だより」ご報告および企画について
 - ③ 魅力発信動画について
 - ④ 『保育の友』ナウ・トピックスについて
 - ⑤ 「私たちは、命を育み、学ぶ意欲を育てます」ポスター写真のご提供および活用事例について
- ・第2回広報部会／令和6年10月25日(金)
 - ① 「保育士会だより」の特集企画について
 - ② 令和7年度の連載について
 - ③ 第57回全国保育士会研究大会における役割分担について
 - ④ 「私たちは、命を育み、学ぶ意欲を育てます」ポスター写真について
- ・第3回広報部会／令和6年12月26日(木)
 - ① 令和6年度広報部所管の事業進捗状況・決算見込み
 - ② 令和7年度広報部所管の事業計画(案)・予算(案)
 - ③ 「保育士会だより」の企画について
 - ④ 保育の友「ナウ・トピックス」のテーマについて

(11) 大会運営委員会の開催(4回)

- ・第1回大会運営委員会／令和6年5月16日(木)
 - ① 各都道府県・指定都市組織の参加目標人数について
 - ② 第57回全国保育士会研究大会 会場等について
 - ③ 第57回全国保育士会研究大会 経費について
- ・第2回大会運営委員会／令和6年9月13日(金)
 - ① 参加目標人数および現在の申込者数について
 - ② 大会の準備状況について
 - ③ 大会アピール案について
- ・第3回大会運営委員会／令和6年11月20日(水)
 - ① 大会アピールについて
 - ② 第57回全国保育士会研究大会のすすめ方について
 - ③ その他
- ・第4回大会運営委員会／令和7年2月12日(水)
 - ① 第57回全国保育士会研究大会の総括について
 - ② その他

(12) 研究紀要委員会の開催(1回)

・第1回研究紀要委員会／令和6年10月9日(水)

- ① 第34号研究紀要2023(執筆)の進捗状況と振り返りについて
- ② 第57回全国保育士会研究大会分科会運営等について
- ③ 全国保育協議会・全国保育士会研究大会の一本化に伴う令和7年度以降の体制について

(13) 全保協・全国保育士会研修担当連絡会の開催

・第1回全保協・全国保育士会研修担当連絡会／令和7年1月28日(火)12:00～13:00 ※WEB

- ① 令和6年度研修部事業および大会等の進捗状況、令和7年度に向けて
- ② 令和6年度「保育活動専門員」認定制度について
- ③ 令和7年度「保育活動専門員」認定制度について

(14) 全国教育・保育研究大会運営委員会の開催

・第1回全国教育・保育研究大会運営委員会／令和6年9月30日(月)

- ① 令和5年度 大会運営委員会作業委員会における協議内容について
- ② 全国教育・保育研究大会 開催地との費用負担の整理(従来型)
- ③ 一本化大会の費用について

・第2回全国教育・保育研究大会運営委員会／令和7年2月13日(木)

- ① これまでの協議内容について
- ② 2025年度全国教育・保育研究大会の開催に向けて
- ③ 参加目標数について
- ④ 全保協分科会講師について

(15) その他必要な会議の開催

・第1回社会の変化に対応した保育内容等に関する特別委員会(第11回)／令和6年10月24日(木)

- ① 本委員会の体制について
- ② 令和6年度調査「主任保育士」に関する調査項目について
- ③ 今後のスケジュールについて

・第2回社会の変化に対応した保育内容等に関する特別委員会(第12回)／令和6年11月18日(月)

- ① 令和6年度調査「主任保育士」に関する調査項目について

6. 関係団体との連携推進

(1) 全社協との連携促進

- ① 全国社会福祉協議会評議員会……村松幹子会長
- ② 社会福祉施設協議会連絡会……村松幹子会長
- ③ 社会福祉施設協議会連絡会調査研究部会……北野久美副会長
- ④ 児童福祉関係種別協議会会長会議……村松幹子会長
- ⑤ 政策委員会……北野久美副会長
- ⑥ 福祉施設長専門講座運営委員会……笠置英恵副会長
- ⑦ 国際社会福祉基金委員会……笠置英恵副会長
- ⑧ 「保育の友」編集委員会……服部明子副会長(再掲)
- ⑨ キャリアパス対応生涯研修課程運営委員会……北野久美副会長

(2) 全保協との連携促進

- ① 全保協・全国保育士会正副会長連絡会議(再掲)

- ② 全保協・全国保育士会研修担当連絡会議(再掲)
 - ③ 全保協・全国保育士会合同予算対策委員会(再掲)
 - ④ 教育・保育施設長ステージアップ研修運営委員会……笠置英恵副会長
 - ⑤ 保育施策検討特別委員会……北野久美副会長
- (3)全国児童養護施設協議会、全国乳児福祉協議会、全国母子生活支援施設協議会との連携促進
- ① 児童福祉関係種別協議会会长会議……村松幹子会長(再掲)
- (4)福利厚生センターへの協力……村松幹子会長
- (5)各種専門職団体等との連携促進
- ① 全国保育士養成協議会……村松幹子会長
- (6)アジア児童福祉施設等への支援
- ① 国際社会福祉基金委員会……笠置英恵副会長(再掲)
- (7)健やか親子 21 推進協議会への参画……服部明子副会長
- (8)食育推進評価専門委員会への参画……笠置英恵副会長(再掲)